

Title	ユーザーソフトウェアバンク (\$USB)コマンドの新設について
Author(s)	江田, 勝彦; 中島, 聖勝
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 74 P.207-P.219
Issue Date	1989-08
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/65847
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

ユーザーソフトウェアバンク（\$USB）コマンドの新設について

業務掛 江田 勝彦
 中島 聖勝

1. はじめに

当センターでは、ソフトウェアの研究開発の公募など、利用者の御協力を得ながら、センターライブラリーの拡充につとめています。しかし、このライブラリーには、公益性、完成度、登録後のトラブル発生時のサポートなどを要求され、個人的に開発したソフトウェアは、気軽にライブラリーへ登録できないのが現状です。そこで、このたび、利用者によって開発されたソフトウェアを自由に公開、利用できるようにと\$USBコマンドを開発いたしました。

なお、この\$USBコマンドを利用するにあたっては、登録後の著作権上のトラブルを未然に防ぐ意味でも、登録するプログラムは著作権を放棄したソフトウェア、いわゆるパブリック・ドメイン・ソフトウェア（PDS）であることが望ましいと考えますが、これに該当しない場合はその旨、利用説明書に明記の上、開発者は登録を行ってください。

2. \$USBコマンドの概要

\$USBコマンドの機能には、ソフトウェアの参照、登録、削除の3つの機能があります。参照する機能の中には使用方法を端末に表示する機能やコマンドやソースの入っているファイルを個人のファイルに複写する機能を備えています。

【コマンド形式】

\$USB 処理名, グループ名

\$USBコマンドはパラメータなしに会話的に利用できますが、使いたれた方はパラメータを入力し、非会話的に利用することもできます。以下にパラメータを示します。

【パラメータ】

- (1) 処理名 : 1. . . \$USBの参照
 2. . . \$USBの登録
 3. . . \$USBの削除
- (2) グループ名 : 1. . . COMMANDS
 2. . . APPLICATIONS PROGRAMS
 3. . . SUBROUTINES
 4. . . GAMES
 5. . . PERSONAL COMPUTER
 6. . . OTHERS

(注) グループ名は今後追加する場合がありますので番号は変わる可能性があります。

(パラメータ使用例)

\$USBのCOMMANDSを参照する場合。

*\$USB 1, 1

\$USBにソフトウェアを登録する場合は、次にあげる3つのファイルを事前に用意しておく必要があります。

1. 登録するソフトウェアのソースプログラムファイルまたはロードモジュールファイル (両方でも可)
2. 1行50バイトで最大3行までの簡単な紹介コメント用ファイル
3. 登録するソフトウェアの利用説明書ファイル

なお、利用説明書の詳細が極めて長大になる場合は、基本的な説明のみこのファイルに登録して頂き、詳細なマニュアルの入手方法を記して頂くだけで結構です。

3. \$USBコマンドの使用法

参照、登録、削除の各処理について会話的な使用例をあげて説明します。

(\$USB 参照の使用例)

```
*$USB -----①
  SYORI NAME
  1. READ
  2. WRITE
  3. DELETE
  FUNCTION ?1 -----②

      GROUP NAME                                COUNT
  1. COMMANDS                                  (000)
  2. APPLICATIONS PROGRAMS                     (002)
  3. SUBROUTINES                               (003)
  4. GAMES                                     (004)
  5. PERSONAL COMPUTER                         (000)
  6. OTHERS                                    (000)
  GROUP NUMBER ?4 -----③

  NO. PROGRAM NAME SYSTEM COMMENT
  001 SYOUGI      ACOS  ACOS2000 TO SYOUGI WO SASU TADASHI TAN
                                MATSU HA N5200 ! KOMANO IDOU HA TEN KEY.
  002 OTHELLO    UNIX  THIS IS FINE GAME!
  003 MAJYAN     ACOS  2NIN MAJYAN DESU
  004 BILLIARDS  SX2   4TUDAMA GAME
  PROGRAM NUMBER ? 2 -----④

OTHELLO
AUTHOR:阪大 太郎
OF :大阪大学大型計算機センター
TEL:06 877 5111 2138
オセロゲームの遊び方
表が白、裏が黒のCHIPを交互に、.....おたのしみください。
.....
```

```

PRINT TO CENTER JPR ( Y/[N] ) ?Y -----⑤
SEND BY MAIL ( YES OR NO ) ? N -----⑥
JOB-ID #J001T
DO YOU COPY THIS LOAD MODULE ( [Y]/N ) ?Y -----⑦
YOUR FILE NAME ? /OSERO-E -----⑧
TCMD540 I 2 L L I N Kコピーしました
DO YOU COPY THIS SOURCE ( [Y]/N ) ?Y -----⑨
YOUR FILE NAME ? /OSERO-S
TCMD540 I 2 L L I N Kコピーしました
DO YOU COPY THIS DATA FILE ( [Y]/N ) ?Y -----⑩
YOUR FILE NAME ? /OSERO-D
TCMD540 I 2 L L I N Kコピーしました
PROGRAM NUMBER ?E -----⑪

```

[説明]

- ① \$ U S Bを省略形を使わず起動させると、処理名の一覧が表示され質問が返される。
この時、パラメータの処理番号、グループ番号を指定する事も可。
- ② 処理番号を入力すると、その処理に移る。この例では“1”を入力する。
- ③ ここでは、グループ名と登録件数が表示され、グループ番号の入力要求をされる。
この例では“G A M E S”を参照するため“4”を入力する。
- ④ “G A M E S”内に登録されているプログラム名、対応システム名、簡単なコメント行が表示される。次にその中から自分の見たいプログラム番号を入力すると、説明が端末に表示される。
- ⑤ センター J P R出力用説明文のファイルが用意されている場合は、出力するかの問い合わせがある。この場合“Y”を入力している。
- ⑥ M A I Lの問い合わせに、この場合“N”を入力している。
- ⑦ 実行形式のファイルに対して自分のファイルにコピーしたい時には、この質問に“Y”を入力する。
- ⑧ ⑦で“Y”を入力したときのみ、この質問が返され任意のファイル名を入力するとそのファイルにコピーされる。
- ⑨ ソース形式のファイルに対して自分のファイルにコピーしたい時には、この質問に“Y”を入力する。
- ⑩ データ形式のファイルに対して自分のファイルにコピーしたい時には、この質問に“Y”を入力する。
- ⑪ この質問は④と同じもので、現在のグループ名のプログラムを繰り返し参照できる。グループ名を変更し参照する場合は“B”を入力し、③の質問まで戻り、新しいグループ名を入力する。
なお、③の質問に“B”を入力すると②に戻ることもできる。
この例では“E N D”を入力し\$ U S Bを終了している。

②③④の質問で“HELP”入力で補足説明を参照することもできる。

(\$ U S B 登録の使用例)

```
*$USB
  SYORI NAME
  1. READ
  2. WRITE
  3. DELETE
  FUNCTION ?2 -----①
```

```
      GROUP NAME                                COUNT
  1. COMMANDS                                  (000)
  2. APPLICATIONS PROGRAMS                     (002)
  3. SUBROUTINES                               (003)
  4. GAMES                                     (004)
  5. PERSONAL COMPUTER                         (000)
  6. OTHERS                                   (000)
  GROUP NUMBER ?4 -----②
```

```
$USB'S PROGRAM NAME ?SENSUIKAN -----③
SYSTEM NAME (ACOS OR SX OR UNIX OR .... ETC) ?ACOS -----④
YOUR FILE NAME FOR LOAD MODULE ?/GAME/SENSUI-E -----⑤
YOUR FILE NAME FOR SOURCE ?/GAME/SENSUI-S -----⑥
YOUR FILE NAME FOR DATA FILE ?/GAME/SENSUI-D -----⑦
YOUR FILE NAME FOR COMMENT ?/COMMENT/SENSUI -----⑧
YOUR FILE NAME FOR JPR MESSAGE ?/JPR/SENSUI -----⑨
YOUR FILE NAME FOR TERMINAL MESSAGE ?/TERMINAL/SENSUI -----⑩
YOUR NAME ?阪大 太郎 -----⑪
YOUR ADDRESS ?大阪大学大型計算機センター -----⑫
YOUR TELEPHONE NUMBER ?877 5111 2811 -----⑬
DO YOU WRITE THIS PROGRAM ( Y/N )? -----⑭
TCMD540 I 1 4 L L I N K S コピーしました。
TCMD540 I 2 4 L L I N K S コピーしました。
TCMD540 I 1 3 L L I N K S コピーしました。
TCMD540 I 1 3 L L I N K S コピーしました。
TCMD540 I 4 L L I N K S コピーしました。
GROUP NUMBER ? E
```

[説明]

- ① この例では“1”を入力する。
- ② 自分の登録したいグループ番号を入力する。この例では“4”を入力する。
- ③ \$ U S B 登録後のプログラム名を12文字以内で入力する。
- ④ 使用可能なシステム名を入力する。
- ⑤ 登録する実行形式のファイル名を入力する。(ソース形式で登録する場合は省略可)
- ⑥ 登録するソース形式のファイル名を入力する。(実行形式で登録する場合は省略可)
- ⑦ 登録するデータ形式のファイル名を入力する。(省略可、他の目的に使用可)
- ⑧ コメント用ファイル名を入力する。(1行50バイトで3行まで)
- ⑨ センター出力用メッセージファイル名を入力する。(省略可)
- ⑩ 端末表示用メッセージファイル名を入力する。
- ⑪ 氏名を入力する。

- ⑫ 所属を入力する。
- ⑬ 連絡先電話番号を入力する。
- ⑭ 確認の問い合わせに“YES”を入力すると\$USBに登録される。

(\$ U S B 削除の使用例)

```

*$USB
  SYORI NAME
  1. READ
  2. WRITE
  3. DELETE
  FUNCTION ? 3 -----①

  NO. PROGRAM NAME GROUP NAME
  001 SYOUGI      GAMES
  002 OHELLO     GAMES
  003 BILLIARDS  GAMES
  PROGRAM NUMBER ? 3 -----②

  DO YOU SAVE PROGRAM & FILES ( Y/[N] ) ?Y -----③
  YOUR FILE NAME FOR LOAD MODULE ?W60158/SAVE/BILL-E -----④
  TCMD540 I 1 0 3 L L I N K S コピーしました。
  YOUR FILE NAME FOR SOURCE ?W60158/SAVE/BILL-S
  TCMD540 I 1 0 3 L L I N K S コピーしました。
  YOUR FILE NAME FOR DATA FILE ?W60158/SAVE/BILL-D
  TCMD540 I 1 0 3 L L I N K S コピーしました。
  YOUR FILE NAME FOR COMMENT ?W60158/SAVE/BILL-C
  TCMD540 I 1 0 3 L L I N K S コピーしました。
  YOUR FILE NAME FOR TERMINAL MESSAGE ?W60158/SAVE/BILL-T
  TCMD540 I 3 L L I N K S コピーしました。
  YOUR FILE NAME FOR JPR MESSAGE ?W60158/SAVE/BILL-J
  TCMD540 I 3 L L I N K S コピーしました。
  DO YOU REALLY DELETE THE PROGRAM ( Y/[N] ) ?Y -----⑤
  ACCE500 ファイルBILLIARDS をリリースしました。
  ACCE500 ファイルBILLIARDS をリリースしました。
  ACCE500 ファイルBILLIARDS をリリースしました。
  ACCE500 ファイルBILLIARDS をリリースしました。

  NO. PROGRAM NAME GROUP NAME
  001 SYOUGI      GAMES
  002 OHELLO     GAMES
  PROGRAM NUMBER ? E
  *
```

[説明]

- ① この例では“3”を入力すると利用者自身の登録したプログラム名とグループ名が表示される。
- ② 削除するプログラム番号を入力する。この例では“3”を入力する。
- ③ 削除する前にここで“YES”を入力すると各ファイルをコピーすることができる。
- ④ ③で“YES”を入力したときのみ、この質問が返され任意のファイル名を入力するとそのファイルにコピーされる。
- ⑤ 確認の問い合わせに“YES”を入力すると削除される。

4. その他

ロードモジュールプログラムを登録した場合、翌日より次のような手順でプログラムを利用できます。

例. COMMANDSにTESTというロードモジュールプログラムが登録されている場合
SYSTEM ? USB/COMM/TEST
テストコマンドが実行されました。
SYSTEM ?

[説明]

この場合カタログ名はCOMMですが、利用したいプログラムが登録されているグループ名4文字を指定してください。

※ USB / グループ名4文字 / プログラム名

5. 注意事項

\$USBに限らず、ソフトウェアにはすべてバグが含まれている可能性があります。\$USBのソフトウェアを利用して得られた結果に関しても、その責任は利用者にあることは、センターライブラリーの場合と同様です。

また、\$USBのソフトウェアは原則としていつ、誰が、何処で使用しても自由ですが、利用説明書に記載のある場合には、その結果を学術論文などで発表する場合等に限り、誰の、どのプログラムを使用したかを引用してください。

特に記載の無い場合でも、利用者の判断により、引用した方がよいと考えられた場合は、プログラムのプライオリティの尊重の原則に従い引用されることをお奨めいたします。

6. おわりに

このユーザーソフトウェアバンクは不特定利用者が自由に自分のソフトウェアの公開および利用を行い、センターシステムをより有効に利用することを目的としていますので、今後より多くの利用者が気軽に利用していただく事をお奨めいたします。

また、\$USBに登録されたソフトウェアは、ソースプログラムも公開されている場合がありますので、より使いやすく改良し、再び\$USBに登録されても結構です。

これらのソフトウェアに関する意見・要望などは、登録者または電子掲示板(\$BBS)にお寄せください。

なお、この\$USBの開発に際し、常々御協力頂いた高木達也先生(大阪大学薬学部薬品分析化学教室)に厚く御礼申し上げます。

付録\$USBコマンドの問答形式一覧

機能	質問	応答	
		応答形式	意味
READ (参照する)	FUNCTION ?	1	USBを参照する
		復帰またはキリッヅリターン	機能選択のメニューを表示する
		EまたはEND	\$USBコマンドを終了する
		HELPまたは?	簡単な説明文を表示する。
	GROUP NUMBER ?	番号	参照するグループ番号を指定する
		復帰またはキリッヅリターン	グループの一覧を表示する
		EまたはEND	\$USBコマンドを終了する
		BACKまたはB	前のレベルに戻る
		HELPまたは?	簡単な説明文を表示する。
	PROGRAM NUMBER ?	番号	参照するプログラム番号を指定する
		復帰またはキリッヅリターン	プログラムの一覧を表示する
		EまたはEND	\$USBコマンドを終了する
		BACKまたはB	前のレベルに戻る
		HELPまたは?	簡単な説明文を表示する。
	PRINT TO CENTER JPR (Y/[N]) ?	Y	JPR用説明書を出力する
		N	JPR用説明書を出力しない
	SEND BY MAIL (YES OR NO) ?	Y	メール出力する
		N	メール出力しない
	DO YOU COPY THIS LOAD MODULE (Y/[N]) ?	Y	実行形式ファイルを複写する
		N	実行形式ファイルを複写しない
	YOUR FILE NAME ?	ファイル名	複写するファイル名を指定する
	DO YOU COPY THIS SOURCE (Y/[N]) ?	Y	ソースファイルを複写する
		N	ソースファイルを複写しない
	DO YOU COPY THIS DATA FILE (Y/[N]) ?	Y	データファイルを複写する
		N	データファイルを複写しない

機 能	質 問	応 答	
		応 答 形 式	意 味
WR I T E (登録する)	FUNCTION ?	2	U S B に登録する
		復帰またはキリリッリッ	機能選択のメニューを表示する
		E または E N D	\$ U S B コマンドを終了する
		H E L P または ?	簡単な説明文を表示する。
	GROUP NUMBER ?	番号	登録するグループ番号を指定する
		復帰またはキリリッリッ	グループの一覧を表示する
		E または E N D	\$ U S B コマンドを終了する
		B A C K または B	前のレベルに戻る
		H E L P または ?	簡単な説明文を表示する。
	USB'S PROGRAM NAME ?	プログラム名	\$ U S B に登録後のプログラム名を指定する
	SYSTEM NAME (ACOS OR SX OR UNIX ORETC) ?	システム名	プログラムの使用可能なシステム名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR LOAD MODULE ?	ファイル名	登録する実行形式のファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR SOURCE ?	ファイル名	登録するソース形式のファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR DATA FILE ?	ファイル名	登録するデータ形式のファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR COMMENT ?	ファイル名	登録するコメント用ファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR JPR MESSAGE ?	ファイル名	センター J P R 出力用ファイル名を指定する (利用説明書)
YOUR FILE NAME FOR TERMINAL MESSAGE ?	ファイル名	端末出力用ファイル名を指定する (利用説明書)	
YOUR NAME ?	名前	名前を入力する	
YOUR ADDRESS ?	住所	機関名、所属部局名を入力する	
YOUR TELEPHONE NUMBER ?	電話番号	連絡先電話番号を入力する	

機 能	質 問	応 答	
		応 答 形 式	意 味
DELETE (削除する)	FUNCTION ?	3	USBのプログラムを削除する
		復帰またはキリワザ/リターン	機能選択のメニューを表示する
		EまたはEND	USBコマンドを終了する
		HELPまたは?	簡単な説明文を表示する。
	GROUP NUMBER ?	番号	登録するグループ番号を指定する
		復帰またはキリワザ/リターン	グループの一覧を表示する
		EまたはEND	USBコマンドを終了する
		BACKまたはB	前のレベルに戻る
		HELPまたは?	簡単な説明文を表示する。
	DO YOU SAVE PROGRAM & FILES (Y/[N]) ?	YまたはN	削除する前に登録済みのファイルを退避する時は"Y"しない時は"N"を入力する。
	YOUR FILE NAME FOR LOAD MODULE ?	ファイル名	実行形式のファイルを退避するファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR SOURCE ?	ファイル名	ソース形式のファイルを退避するファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR DATA FILE ?	ファイル名	データ形式のファイルを退避するファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR COMMENT ?	ファイル名	コメント用ファイルを退避するファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR TERMINAL MESSAGE ?	ファイル名	端末出力用説明書ファイルを退避するファイル名を指定する
	YOUR FILE NAME FOR JPR MESSAGE ?	ファイル名	JPR出力用説明書ファイルを退避するファイル名を指定する
DO YOU REALLY DELETE THE PROGRAM (Y/[N]) ?	YまたはN	プログラムを削除する時は"Y"しない時は"N"を指定する	

センター刊行物一覧

1. ジョブ制御言語の手引 1987. 11月発行 135頁 (ファイル化)
 この手引は、ACOS 2000 及び SX 簡易形において使用する、ジョブ制御言語やそれに関連する事柄を説明したものです。
2. TSS利用の栞 1987. 8月発行
 この栞(しおり)は、基礎編No.1、コマンド一覧No.2、プログラムの作成・修正No.3、プログラムの実行No.4、バッチ・ジョブの入出力No.5、ファイルの操作No.6、センター開発コマンド一覧No.7から成り、TSSの利用経験が全くない初心者向きに書かれており、非常にわかりやすい栞です。
3. 端局設置申請に関する説明書 1989. 5月発行 49頁 (ファイル化)
 この説明書は、これから端局を設置される利用者の方を対象に、端局設置に伴う申請書の流れをわかりやすく説明したものです。
4. 図形処理の手引 1987. 1月発行 231頁
 本センターに設置されているグラフィック・ディスプレイやXYプロッタ等の図形処理用サブルーチン (FORTRAN 77-V) の利用方法と装置の操作法、SXでのライブラリの利用方法などについて説明した手引書です。
5. スプール処理システム利用の手引 1988. 8月発行 58頁 (ファイル化)
 この手引は、磁気テープやフロッピーディスクの外部記憶媒体と磁気ディスク上のファイルとの相互変換について説明してあります。
 スプール処理では、できるだけ容易に利用できるように、各装置に専用の制御卓を付設し、この制御卓を操作しながら利用者が会話的に処理を進めるようになっています。
6. 大学間ネットワーク利用の手引 1989. 5月発行 76頁 (ファイル化)
 この手引は、全国に散在する大型計算機センター等の計算機相互間を日本電信電話株式会社のDDXパケット交換網または、特定通信回線を介して接続した大学間ネットワークのTSSサービスやRJEサービスの利用について説明してあります。

7. オンライン・データベース利用ガイド 1988. 11月発行 153頁 (第8版)

全国共同利用大型計算機センター共同の刊行物で、7センターのデータベースの利用方法を例題も多く説明したガイドブックです。

8. プログラム・ライブラリの概要と使用法 1987. 4月発行 85頁 (ファイル化)

この手引は、現在センターで使用可能なライブラリ及びアプリケーション・パッケージの使用法について説明したものです。

9. ファイルバックアップ支援プログラム利用手引書 1986. 7月発行 22頁 (ファイル化)

利用者がSX上に作成したファイルを、ACOS-6上の順編成ファイルへ退避し、また必要に応じてそのファイルをSX上に復元することが、容易に行えるようにすることを目的としたファイルバックアップ支援プログラムの利用方法を説明した手引です。

10. SX会話処理利用者支援プログラムSXFMTN利用手引書

1986. 9月発行 29頁 (ファイル化)

SX上の磁気ディスク内に存在するパーマネントファイルの作成、削除と保守を端末を介して会話的に行えるようにすることを目的としたプログラム、SXFMTNの利用方法を説明した手引です。

11. ASTER操作説明書 1988. 5月発行 81頁 (ファイル化)

本センターで複写サービスを行っている端末エミュレータASTERの利用手引書。これは、センターニュース (Vol. 16, No. 3) に掲載した記事に加筆、訂正を加えた手引です。

12. 手書きOCR装置利用の手引 1987. 6月発行 17頁 (ファイル化)

新しく入替えとなった手書きOCR装置N 6970Gの利用方法を説明した手引書です。

13. SALS USERS' MANUAL (英文) 1984. 2月発行 59頁 (ファイル化)

最小二乗法を中心とするデータ解析のための汎用プログラム・パッケージSALSの利用方法について説明している英文マニュアルです。

14. 日本語文書の編集出力 1985.4月発行 23頁 (ファイル化)

日本語文書を編集処理してページプリンタに出力する利用方法について説明している資料です。

15. マイコン (PC9801F) を TSS 端末として利用する方法 1986. 8月発行 15頁 (ファイル化)

PC9801F を無手順端末として、TERM コマンド (ターミナルモード) および BASIC プログラムの 2 種類の利用方法について説明している資料です。

16. TSS の手引-I (実習用) 1986. 4月発行 38頁 (ファイル化)

TSS の使用法をごく簡単に説明した手引で、実際に端末を使って実習する自習型のものです。TSS 講習用でもあります。

17. TSS の手引-II (実習用) 1986. 4月発行 192頁 (ファイル化)

TSS の利用法を画面エディタの使用法を中心として説明した手引で、実際に端末を使って実習する自習書です。

18. 大学間電子メールシステムの使い方 1988.1月発行 23頁 (ファイル化)

本センターおよび7大学大型計算機センターの利用者との間でメールのやりとりをする電子メールの利用法を説明した資料です。

19. DAISY 利用の手引 1988. 3月発行 23頁 (ファイル化)

対話型データ解析システムで、クロス集計、数量化理論 I ~ IV、因子分析、時系列分析、計量経済分析等の解析手法があります。

20. 電子掲示板システム (\$BBS) の使い方 1988.7月発行 12頁 (ファイル化)

不特定利用者間で自由に情報交換を行うことを目的とした電子掲示板システムの利用法を説明した資料です。

21. MIEDIT (マイエディット) 利用の手引 1988.10月発行 32頁

MIEDIT (マイエディット) は、カーソル操作を主体としたエディタで、両面分割により、2つのファイルの編集が行えたり、キーを好みに変更出来るものである。

<注意事項>

(ファイル化)の記述がある刊行物は、ディスクファイルに格納されていて利用者自身がTSSコマンド(\$TEBIKI又は\$HANDBOOK)で、日本語プリンタに出力するようになっています。

【例】 SYSTEM? \$TEBIKITEBIKI コマンド入力

***** MENU *****

- (1) スプール処理システム利用の手引
- (2) 大学間ネットワーク利用の手引

.....

TITLE NUMBER INPUT? 2必要な手引を番号で選択
\$TEBIKI COMND END (YES OR NO)? Y.....TEBIKIコマンドを終了させる
SEND BY MAIL (YES OR NO)? Y.....連絡所送りとするときはYを選択